

地方独立行政法人福岡市立病院機構  
令和2年度第7回理事会 議事録（要旨）

- 日 時：令和3年1月27日（水）16:00～17:30
- 場 所：WEB会議（事務局：こども病院2階 市民病院4階）
- 出席者：原理事長（議長）、桑野副理事長、久保理事、石原理事、神坂理事、野中理事  
久留監事、柳澤監事

□ 議 事

【議案審議】

1 議案第11号 第4期中期計画について

<概要>

第4期中期計画について、事務局より説明を行い、原案どおり可決された。  
（前回理事会報告時からの主な変更点）

- ・研修等の目標値を実施回数から参加率に変更
- ・ホームページアクセス数や新規紹介患者数など、新たに目標値を追加
- ・直近の実績に基づき、令和2年度見込値及び令和6年度目標値を一部変更

<主な意見等>

- 研修等の目標値については、年1回開催としていたものなどを参加率に変更したが、災害訓練については回数も重要であることから、両方を目標値としている。
- コンプライアンス研修については受講率100%目標としているが、職種によっては受講が難しく、達成は困難と思う。Webやeラーニング等を活用するなど工夫されたい。
- コロナが一段落した後の経営改善に取り組む必要がある。DXを推進して仕事の仕組みを変えるには、どう経営していくかを病院でもしっかりと考えて専門家の活用を図るべきである。
- 第4期中期計画期間中の運営費負担金は、市と協議して第3期と同額の80億円（年20億円）で計画しており、建設改良費については利益剰余金を取崩して対応することとしている。また、コロナによる不透明感はあるが、旧こども病院跡地の売却益も計画の中で見込んでいる。

【報告事項】

1 令和2年度決算見込みについて

<概要>

令和2年度決算見込みについて、事務局より説明を行った。

<主な意見等>

- コロナの影響で通常の患者を受入できず減収となっている医療機関が一般的に多いと思われるが、市民病院は重点医療機関として、空床確保やECMO等を使用する重症患者も受け入れていることから補助金や診療報酬が高い。そのため、収支は好転する見込みであるものの、実態としては厳しい状況が続いている。コロナの収束を見据えながら、第4期中期計画期間中は給与費率などをはじめとした経営改善を進めていく。

2 職員団体表彰（年末表彰）について

<概要>

職員団体表彰（年末表彰）について、事務局より説明を行った。

(受賞内容)

《最優秀賞 2件》

○テーマ：外来を中心とした新型コロナウイルス感染症の院内紛れ込みの水際での阻止

受賞者：こども病院 外来、検査部、COVID-19 対策本部事務局、感染対策室の COVID-19 対応従事者

○テーマ：新型コロナウイルス感染症の対応

受賞者：福岡市民病院 職員一同

《優秀賞 1件》

○テーマ：看護師の特定行為研修指定研修機関に向けた活動～運営

受賞者：市民病院 看護師の特定行為研修プロジェクト

《努力賞 1件》

○テーマ：全国自治体病院学会 看護・看護教育分科会 推薦優秀演題選出

受賞者：福岡市民病院 看護部（8階病棟）

<主な意見等>

- コロナ対応で職員の精神的、身体的負担も大きく、病院によっては看護師の退職が多いところもある中でよく頑張っており、表彰することは意義がある。